

西讃から平和行進は東讃へと進む！！

朝まだ小雨が降る中の出発集会となりました。浦田副市長は、ウクライナやガザなど世界情勢は厳しいことに憤りを感じると切り出し、日本も非核三原則を反故にしているが、坂出市では昭和 59 年平和都市宣言を制定している。皆さんの運動に共感しているが、体調に気を付けて、所期の目標を達成してほしいと挨拶。また東原議長は、当たり前なのが、そうっていないことが世界と日本の現実と分析し、皆さんに頑張ってもらわなければならないと思う。行進の目的達成を願って疑わないと期待を表明。富岡坂出原水協理事は、生憎の雨だが、元気に頑張って歩こうと呼びかけ、80 年の節目の年、核兵器禁止・廃絶の実現に向け頑張ろうと挨拶。

県庁では、塩田広聴広報課長が池田豊人県知事のメッセージを代読。いま世界では多くの尊い命が失われている。恒久平和が世界の人たちの思い。国連で採択した核兵器禁止条約がその証。80 年の今年は意義深い。ますます運動が広がるように祈念し挨拶としました。岩部筆頭代表が協賛金のお礼の後、昨年暮れのノーベル平和賞受賞を追い風に世界大会に向け、歩いているが、核のない世界をめざして国民の願いを実現していきたいと締めました。

いま各地で、原爆写真展がおこなわれています。三豊市に次いで丸亀市でも医療生協施設「るぶ」で広島市立基町高校生の描いた原爆の絵展がおこなわれています。21 日はその会場で医療生協の総会がおこなわれたとのこと。また綾川町でも 6 月 17～18 日に庁舎内で開催が決定しています。

この間の平和行進の市民・町民の反応は各地で手振りや会釈などです。今日も鶴打町では女性が手振りで応えたり、県庁前では、付属小学校の生徒が連れ立って応援してくれました。

やはり子どもの応援が一番。にっこりした笑顔が何よりの元気の素です。



坂出市での出発式で浦田副市長・東原議長と



県庁舎での塩田課長らと、青い空も合唱しました。